

明日を支える

道総研建築研究本部

2018

研究・活動報告 ③



近年、高度化、専門化する建築技術のデータに偽装が発生するなど、建築技術の信頼性が大きな社会問題となる事例が見受けられます。道総研建築研究本部では、このような社会問題の防止や企業における技術開発の助となるよう第三者評価機関として、適確な判定・判断を実施してきました。

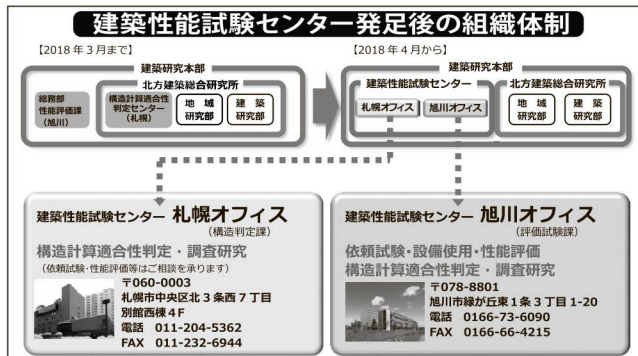
今年4月には、新たに「建築性能試験センター」を立ち上げました。これまで第三者機関としての支援業務は、旭川にあった「総務部性能評価課」が建築研究本部直轄部門として、また、札幌にあった「構造計算適合性判定センター」が北方建築総合研究所の一部門として、それぞれ業務を行っていたことから、両部門を統合することになりました。

これにより、札幌、旭川のどちらでも構造計算

センター立ち上げ判定や試験

建築性能試験センター長 倉増 英樹

札幌、旭川双方で対応可能



適合性判定や依頼試験などのご相談をお受けすることが可能となり、利用

務を紹介していきます。【依頼試験・設備使用・性能評価】

に登録されています。「設備使用」は、多様な実験機器を企業・団体などの技術開発や製品開発などに有料でお使いいただけます。また、防火

て、基礎的な調査研究に加えて市町村や民間に対する指導、研修などを実施しています。

「依頼試験」は、企業や市町村からの依頼により、建材の性能測定などハード面からまちづくりに関する調査などソフト面まで各種の試験・調査を行っています。当センターは、工業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）道総研の一部門として、2007年から判定業務を実施しています。資料の直接持参や面談ヒアリングなども可能です。【調査研究・指導・研修】

す。ぜひご来場ください。